

塩竈市観光振興ビジョン かわら版 vol. 3

みんなくるくる談議 ～これからのまちづくりを考える～を開催しました！

平成 30 年 9 月 7 日(金)に「みんなくるくる談議」を開催しました。今回の談議は、昨年度の観光振興ビジョン策定時の WS メンバーが、今年も活動を続けようと自主的に『語り合える場をつくろう！』と行動開始しました。活動にあたり、以前から本町で活動していた「本町通りまちづくり研究会」と話し合いをし、門前の活性化を目指す上で、「ビジョンの勉強をすることから始めよう」と開催されました。当日、会場の杉村惇美術館には、塩竈のまちづくりを考える多くの方が約 70 名集まりました。



【プログラム概要】・・・司会進行：SKV メンバー津川氏

■第一部 勉強会

①観光モデルルートについて・・・塩竈市観光交流課 吉岡一浩

塩竈のこれからの観光を基軸として、どのように**交流人口を増やす**か解決するため、観光ビジョンを策定した。策定の際に関わった WS メンバーから**自分達で何かしたい**と声があがり、今回の勉強会に繋がった。

ビジョンのコンセプト「**千年の歴史と美食にであう港町・塩竈**」、4エリアのアクションプランを達成するために、様々な人・店などを繋ぎ、意見が出るようサポートしたい。

現在、JR 主催の駅長オススメの小さな旅などで月 1 回程度まち歩きのアテンドや、作成されてから約 10 年になる『しおナビ』で観光客の方にまち歩きの魅力を PR している。これらの取組みを今後のモデルルートに生かしていきたい。

今月末から 4 回目になる「みなと塩竈・ゆめ博」が開催され、メインイベントとして初めてキーワードを探すラリー「**神々の回廊（全 3 コース）**」が実施される。今までの決まったコースを案内する形とは違い、**観光客がイベント性を持って自由にまち歩きを楽しむ新たなスタイル**になる。これによって、少しずつ塩竈のまち歩きの楽しさが広く浸透し、旅行雑誌には載っていない魅力を楽しみに、観光客が増えることを期待する。

②塩竈市観光振興ビジョン(門前町について)・・・SKV メンバー富谷氏

昨年の WS の活動を通して、自分にできることをやろうという気持ちになった。門前町を活性化させる上で、共通理念として「**未来のまちに仕事を創出する**」ことが必要。達成するためには、**アイデアの木を育て**、根っこになるキーパーソンになる人や外の意見、人を繋ぎ**アイデアの木を実らせたい**。実った果実(アイデア)は誰がとっても良くなることで、今の子ども達が塩竈・松島湾で働け、住みやすく、商売をはじめやすい良い街になると思う。

※SKV：塩竈市観光振興ビジョン推進委員会の頭文字をとった略称

アイデアの木



③本町通りまちづくり研究会の活動報告・・・会長 只野氏

本町通りまちづくり研究会は、平成 16 年 5 月から本町の賑わいを取り戻すため、地元の店主+やる気のある有志で立ち上げた。今まで、大漁旗ツリーや漁網イルミネーション、アート展、地元の幼稚園・学生や NPO と協力したイベント、花祭に合わせて本町宵市、藻塩焼神事の前夜祭として御釜神社で昔ながらの雰囲気味わえる宵まつり、今回の勉強会の基盤となったくるくる談議など地元と連携した催しを行ってきた。地域を愛する気持ちは強いが、現状として高齢化や担い手不足は重い課題。



④講演「まちづくり応援講話 がんばれ塩竈市！」 法政大学講師 金子和夫先生

ビジョンの取組みが広がり、地域が盛り上がってきて嬉しく感じる。今回は「がんばれ塩竈市！」と題して、5つのポイントと事例紹介をしたい。これから7年間でソフトとハードの両面からビジョンを進めてほしい。

◎5つのポイント

- ①ターゲットを設定して魅力ある商品の PR 展示をしよう。アクションプラン実現のため、具体的に動いてほしい。
- ②塩竈は「祭・イベント」が多い、市民が塩竈を愛する気持ちを高めてほしい。
- ③観光客から見た塩竈と、地域の人々が持っている熱気にズレを感じるので、観光客目線を意識しよう。
- ④ブランディングデザインをして全国・世界に発信し、他者が塩竈を明確にイメージできるようにする。
- ⑤様々な立場の人が色々な思いを OPEN に語れるプラットフォームを作り、挑戦したい人をフォローし実行できるようにする。

◎事例紹介

(1) 日本橋について

今は観光客でとても賑わっている日本橋だが、H12年頃は老舗が日曜日に閉まっているなど閉古鳥が鳴いていた。地域を牽引するリーダーが高齢化しており、若手に権限がない状況だったため、月1回、誰でも参加できる日本橋について語り合う会を開催したら、そこから新たなリーダーが現れ徐々に発展していった。

今では、老舗の魅力を伝えるガイド（2万円）などがブームになっている。

まちを活性化させるためには、**アイデアを持って実行する人を応援し、その人自ら立ち上がれるようにする**ことが大切。本町通りまちづくり研究会の事業も、**継続から進化**を遂げると素晴らしいと思う。

(2) 亀戸香取勝運商店街（江東区）について

香取神社の門前町商店街として、**神社をシンボルに門前町にストーリー**を持たせた。コンセプトを「昭和のエコノミーのまち」とし、ターゲットを近隣の消費者から⇒外国人・日本人観光客に変更した。具体的には、商店街に**アンテナショップ**をつくったり、ウェブサイトの整備、**観光客が食べやすい物の商品開発**をした。

(3) その他

そのほか、日野市や伊勢のおかげ横丁などの事例として、大型商業施設と連携した IC カード、商店街に直売所をつくる、商店街ニュースの発行、移動販売車、アニメでまちおこし、土地活用バンクなどの話があった。

■第二部 懇談会

金子先生を囲んで、「これからのまちづくり」を自由に語り合いました。

“気軽にまちのことを話し合える場”として 新しい人との繋がりや柔軟な意見交換ができ、様々な人と会話をすることで、やる気が高まった方も多くいました。

●議題についてアンケートから抜粋

- ・店舗どうしの連携
- ・30代、40代の人も頑張っていると思いました。
- ・facebook 等の SNS の友達申請が何件か出来たことが、まず良かったと思いました。SNS の交流を通じて、何か仕事のヒントがつかめれば良いかなと思いました。



■アンケート結果について・・・内容抜粋

今回のくるくる談議は、観光振興ビジョン推進委員会、本町通りまちづくり研究会、塩竈市が主催として、メンバーそれぞれが地域の方に広く塩竈を良くするため、一緒に考えようと声かけをすることで人が集まりました。

第1部勉強会について、内容に興味を持ってましたか？

- ・塩釜の観光資源は点在しており、まとまっていない。もっと横のつながりでアイデアを出し

合って魅力をアピールしたい。金子先生の話でターゲットを定め、観光するルートをつくるという方法に同意。

- 時代に合ったストーリーを皆で作って、まちづくりをしていくという考え方に興味を持ちました。
- 塩竈は熱い志を持っている人が沢山いてとても嬉しいです。
- 残念ながら導入が上手くいかなかったと感じます。①・②まで内容が全くつかめず興味を持ってませんでした。どんな内容でどうもっていくのか紹介が欲しかったです。
- やる気のある人を見つけ出さないと実行に結びつかない。
- 具体的な事例が参考になりました。
- 塩釜市観光ビジョン 18年～25年、7年間でどう実現するのか！という言葉でスイッチが入る思いでした。何かやらねばと思います。
- 町おこしの具体事例をもっと聞かせてほしい。
- 富谷さんの仕事を作るという話は印象的でした。

これからのまちづくりについての意見・感想

- 挑戦しようとする主体を発掘し、それを支援する体制が重要と考えます。
- もっと市民を巻きこんでいけたらいいなと思います。
- 子ども達を通し親を巻きこむ ⇒ 学校行事などで取り上げてもいいですね。
- 塩釜を盛り上げるため頑張りたいと思います。
- 現実性の有る、机上にての空論に終わらぬよう着実に段階をふんで推進して行きたいと思う。全体的にやや、すでに知っている事のように進めていっている感がある。もっと丁寧に談じて行くことを願います。
- 行政のスリム化を図るべきなのに補助金を投入する余裕はない。民間のチャレンジを促すことと補助金依存は矛盾した考えです。



発行：塩竈市観光交流課 人・まち交流係
住所：〒985-0052
塩竈市本町1-1 壺番館2階
電話：022-364-1165
FAX：022-364-1169